

## 防災講演会in八峰開催!

3月11日(日)に「八峰町の津波防災について考える」と題して八峰町文化交流センターファガスでジオパーク防災講演会を行いました。

今年で東日本大震災が発生してから7年、日本海中部地震から35年が経過します。今回の講演会は、震災当時の記憶が風化しつつある中、地域で地震や津波に対する防災意識を高めるために開催しました。

当日は秋田大学の3名の専門家が講演し、町民など約50名が集まりました。また、東日本大震災が発生した時刻の午後2時46分には、参加者全員で黙とうを行い、被災者に祈りをささげました。



講演会の様子

## 講演の内容

以下は講演の要点です。

- ・文献や地質調査などから、日本海では過去に何度も津波が発生していることが分かっている。過去の災害を知り、将来に備えることが重要。
- ・地震発生後の予報発令は迅速化が進んでいるが、日本海中部地震では地震発生後7〜8分で津波が到達した。
- ・防災施設には維持管理費もかかる。将来にわたって防災を続けるには地域の身の丈に合った対策を考えなければいけない。
- ・高台避難と水に浮く丈夫なシエルターを組み合わせて津波対策をしている地域もある。
- ・シエルターがない場合はライフジャケットの着用も生存率を高める。

また、講演会ではアンケートを取りました。「専門的な説明を聞き、改めて防災意識を持つことが大切だと感じた」「八峰町は海が近く津波の危険がある。今回のような機会をもっと作ってほしい」などの意見がありました。

ぶなつこランド森林科学館  
展示パネルをリニューアル!

八峰白神ジオパーク推進協議会は、ぶなつこランド森林科学館内に事務所を設置し活動しています。白神山地のビクターセンターとしての機能を充実させるため、秋田県水と緑の森づくり税事業を活用し、3月に展示パネルの更新を行いました。



森林科学館の展示パネル

て検討会を開催し、来訪者に分かりやすく伝えることができるようパネル内容を検討しました。パネルは以下のような流れで学習できるように作成しました。

- ①大地の成り立ち
  - ・日本海の拡大
  - ・白神山地の隆起
- ②白神山地で広大なブナ林ができた理由
  - ・急激な隆起
  - ・地すべり地形
- ③ブナ林の機能やその恵みに生きる人びとの暮らし
  - ・海、川、山の水の循環
  - ・ブナ林と縄文文化

ぶなつこランドでは展示パネルの他に遊歩道の整備などを進めています。新しくなった展示パネルをぜひ見に来てください。(森林科学館 9時〜17時、水曜定休)

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒0182632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなつこランド内

TEL 018517713086